

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0316
施設名	かすみ台第一保育園
施設所在地	東京都青梅市大門2-253
法人名	社会福祉法人かすみ福祉会

1.活動のテーマ

〈テーマ〉

自然

〈テーマの設定理由〉

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

散歩や園庭で身近な自然に触れる機会が多いので、遊びの中で五感を使ってより興味・関心が高まり、遊びに発展するようにとテーマにすることとした。

2.活動スケジュール

①園庭で遊んでいる際、落ち葉・小枝・雑植物などに興味を持つ。

落ち葉や雑植物の色や形・匂い・感触など触って楽しみ、それぞれの違いに気づく。

砂場やカウンター小屋で落ち葉や雑植物を用いて表現遊びを楽しむ。

②散歩での気付きを楽しんだり、採集した自然物を使って遊びに取り入れる。

絵本を用いて、様々な落ち葉や木の実があり、遊び方の色々を知る。

散歩では、歩く事だけではなく、木々の音や葉が舞う様子などを観察する。

散歩先で様々な自然物に触れ、関心を深めながら採集を楽しむ。

採集した自然物をラミネートし、ホワイトボードを用いて構成遊びに発展する。

③自分が遊びの中で知った自然物を、玩具や塗り絵で表現する。

モザイクステッキ・プリズモ・リモーザ等を用いて色合いや形を表現する。

葉っぱの形を塗り絵にし、みつろうクレヨンを用いて色の混ざり合うことを知り、表現する。

自分達が表現した作品を飾り棚に飾り、皆で共有する。

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・環境設定：砂場（補修工事を行った）、玩具棚設置、飾り棚設置

・準備した素材や道具：砂場工事材料、砂場玩具棚設置材料、飾り棚設置材料、砂場用玩具（シャベル、バケツ）、採集袋、虫入れ容器、ホワイトボード、ラミネート、マグネット、絵本、モザイクステッキボード、ロンディ（大）、プリズモ（小、大）、プリズモボード、リモーザ・画用紙（白 八つ切り）・蜜蠟クレヨン

4. 探求活動の実践

〈活動の内容〉

- ・砂場の砂が少なく、囲いもない状態だったので、子どもたちが砂を存分に使って創作活動が行えるよう砂場環境を整えた。
- ・落ち葉や雑植物に触れ遊びが広がるよう、砂場玩具を取り出しやすいように、砂場横に玩具棚を設置し、シャベルやバケツを使って形を作り、そこに落ち葉や木の実を用いて様々な表現を楽しんだ。
- ・自然物の採集や風や日差しなどを感じながら散歩を楽しんだ。
- ・絵本を通して自然により興味・関心を深めていった。
- ・見て学んだものをロンディーやモザイクステッキ、プリズモなどを用いて表現した。
- ・イメージの広がりから色彩を意識し、蜜蠟クレヨンを使用し、色の混ざり合う感覚を楽しみながら落ち葉や自然の色彩を表現した。
- ・自分たちのつくった作品を飾り棚に飾り、様々な表現の形に共感しあった。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り〉

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・高さのある所から葉っぱを下に落とすと「ひらひらして〜」と言しながら喜び何度も落として遊ぶ姿が見られた。
- ・散歩中、乾燥した落ち葉を踏んで音が鳴ることに気付き、水分を含む葉っぱを踏み「聞こえないね」と言い、落ち葉の違いに気付き楽しんでいた。
- ・落ち葉のマグネットではホワイトボードに並べて貼ったり、形や色ごとに並べてみるなどしていた。「ばけばけはっぱ」の絵本を真似て顔を作って楽しむ姿も見られた。
- ・葉の形のぬり絵を用意すると、散歩で拾った落ち葉を思い出しながら「赤と黄色と緑があったよね」とクレヨンが混ざり合う様子を楽しみながら表現していた。
- ・落ち葉や自然物を室内の玩具でも表現していたが、原色の玩具が多いので、少しイメージが広がりにくそうな子もいた。色は様々であったが、「こういう形してたよね」とモザイクステッキなどで上手に形を作り楽しみ、自分の作った作品を飾られるのを喜んでいた。



5. 振り返り

〈振り返りによって得た先生の気づき〉

- ・散歩では、天候などの影響で十分な回数や場所を訪れるることはできなかったが、子ども達は、行った先でその都度面白い気付きや関心を示していたので、子ども達の着眼点に学ぶこともあった。
- ・自然物で遊び、塗り絵や砂場遊びで表現していくが、色の濃淡や変化だけではなく、感触や重さなどの違いに気付く子もいて、見た目だけではなく触る事で知る学びの多さに実感した。また、室内でも自然物で遊べる環境を作ったことで、子ども達の会話もより広がり、外遊びとの連携にもなっていた。